

# 数 39

いくつかの連続する整数の和を求める式を作ることになります。たとえば、3から連続する5個の整数の和を求める式は次のようになります。

$$3 + 4 + 5 + 6 + 7$$

次の  にあてはまる数を書きなさい。

- (1) 28から連続する20個の整数の和は  になります。
- (2)  から連続する30個の整数の和は5895になります。
- (3) しげゆきさんは、 $2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7$ を計算するのに4と5の間のたし算をはぶいて、 $2 + 3 + 45 + 6 + 7 = 63$ と計算してしまいました。

みえこさんも61から連続する20個の整数の和を求める式をつくりましたが、しげゆきさんと同じように1カ所だけたし算の記号をはぶいたまま計算してしまいました。その結果が8142になりました。たし算の記号をはぶいてしまったのは  と  の間です。

[東京学芸大附属世田谷中]

(1)  $10$  から  $10 =$    
  $10 \sim 19$  } 11個の数をとる  $28$  から  $20 =$   $\rightarrow$   $28$  から  $28 + 19 = 47$

$$(28 + 47) \times 20 \div 2 = 750 \quad \underline{750}$$

(2) 30個の数の中で1番小さい数と各々の数の差の和は   
  $1 + 2 + 3 + \dots + 29 = (1 + 29) \times 29 \div 2 = 435$

$$(5895 - 435) \div 30 = 182 \quad \underline{182}$$

(3)  $61$  から  $61 + 19 = 80$  の和

$$(61 + 80) \times 20 \div 2 = 1410$$

$$8142 - 1410 = 6732 \rightarrow \text{あひだす } 67, 68, \underline{68, 69} \text{ とし}$$

$$8142 - (1410 - 68 - 69) = 6869$$

68と69の間